

町内会のデジタル化に関する
状況調査

報告書

令和6年6月

八戸市連合町内会連絡協議会

目次

調査結果

1. 町内会長ご自身について.....	1
2. 町内会長が所持しているデジタル機器.....	2
3. デジタルツールの活用.....	3
4. ホームページについて.....	6
5. 町内会におけるデジタル化の必要性.....	8
6. デジタルを活用する上での悩みや課題.....	9
7. デジタル化を進めたい町内会活動の分野.....	11
8. デジタル化により見込まれる効果.....	12
9. デジタル化に関して望む支援.....	14
10. その他意見.....	15

アンケート調査票

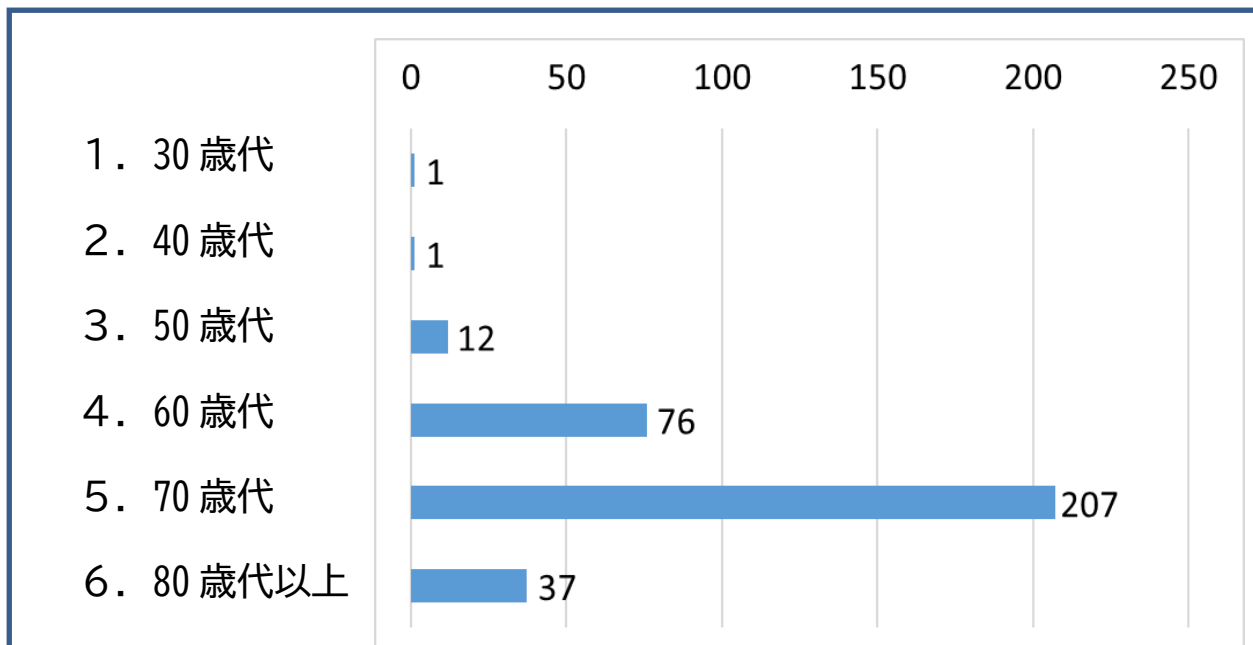
調査の概要

1. 実施目的	町内会におけるデジタル化に関する環境や意識を調査し、その結果を踏まえ、デジタル化に関する今後の方策を検討する。
2. 実施主体	八戸市連合町内会連絡協議会
3. 調査対象	八戸市内全 465 町内会・自治会
4. 調査期間	令和 6 年 2 月 9 日（金）～2 月 28 日（水）
5. 調査項目	問 1. 町内会長ご自身について 問 2. 町内会長が所持しているデジタル機器 問 3. デジタルツールの活用 問 4. ホームページについて 問 5. 町内会におけるデジタル化の必要性 問 6. デジタルを活用する上での悩みや課題 問 7. デジタル化を進めたい町内会活動の分野 問 8. デジタル化により見込まれる効果 問 9. デジタル化に関して望む支援 問 10. その他意見
5. 調査方法	郵送配布、郵送回収
6. 回答率	73.3% (341/465)

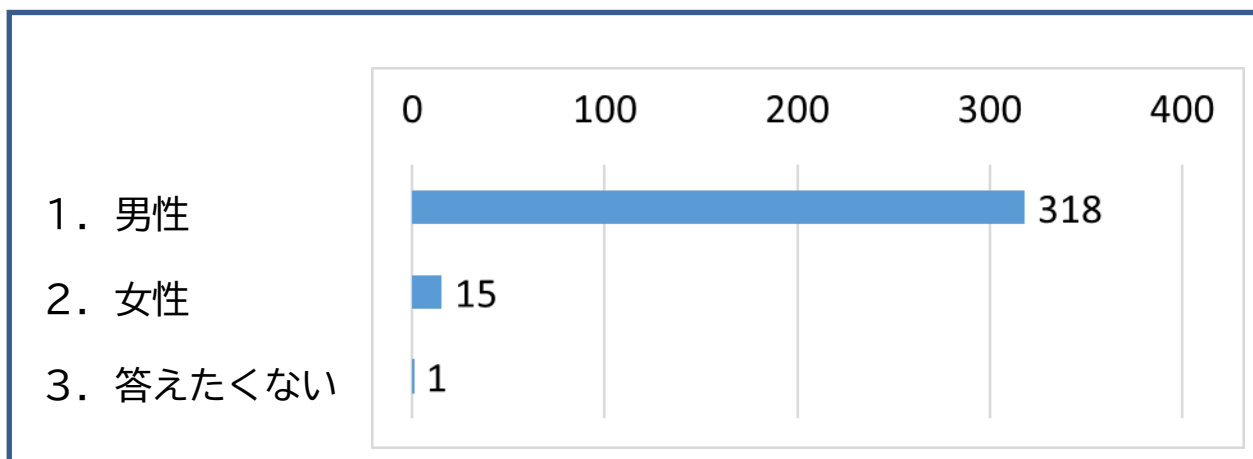
調查結果

問1. 町内会長ご自身について

①会長の年齢について、該当する番号に○をつけてください。



②会長の性別について、該当する番号に○をつけてください。(選択式)

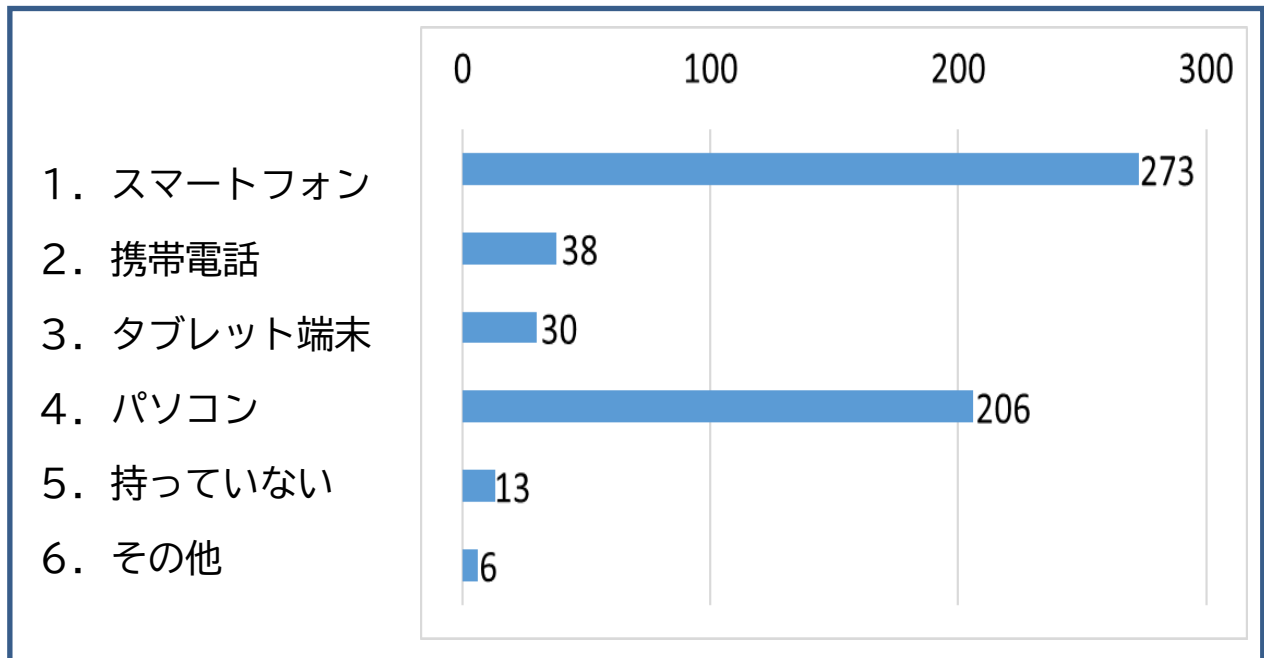


▶調査結果から

- ・年齢については60歳代以上の方が多く、全体の9割以上を占めている。
- ・性別については男性が318名と圧倒的に多く、女性は15名で、全体の5%にも満たない。

問2. 町内会長が所持しているデジタル機器

会長が所持しているデジタル機器について、あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)



「6. その他」の主なもの

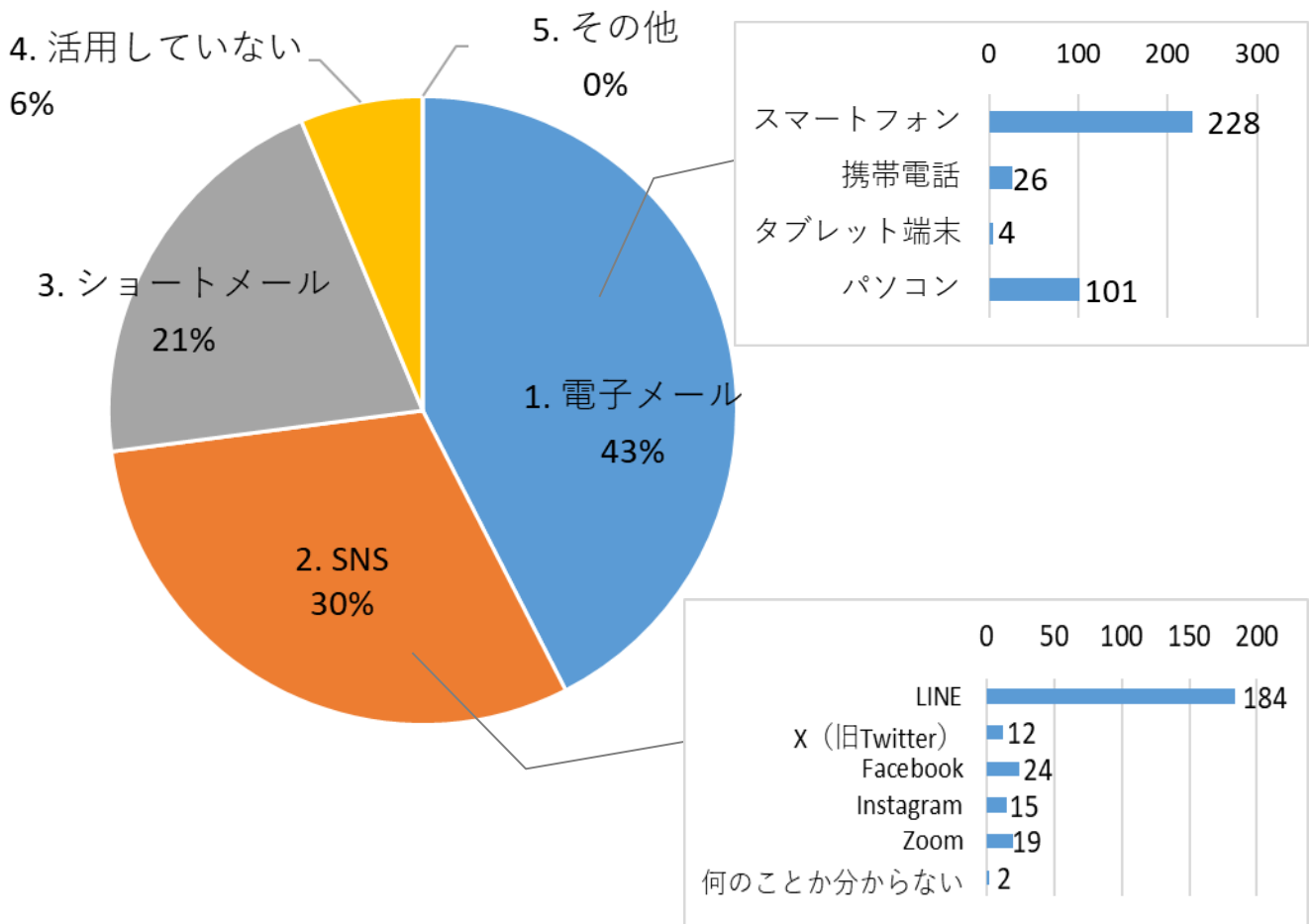
・カメラ、スマートウォッチ

▶調査結果から

- ・ほとんどの会長（96％）は、スマートフォン、携帯電話、タブレット端末、パソコンなどのデジタル機器を所持している。
- ・特にスマートフォンは8割程度、パソコンは6割程度の会長が持っており、所持率が高い。
- ・デジタル機器を持っていない会長は13名であり、少数である。

問3. デジタルツールの活用

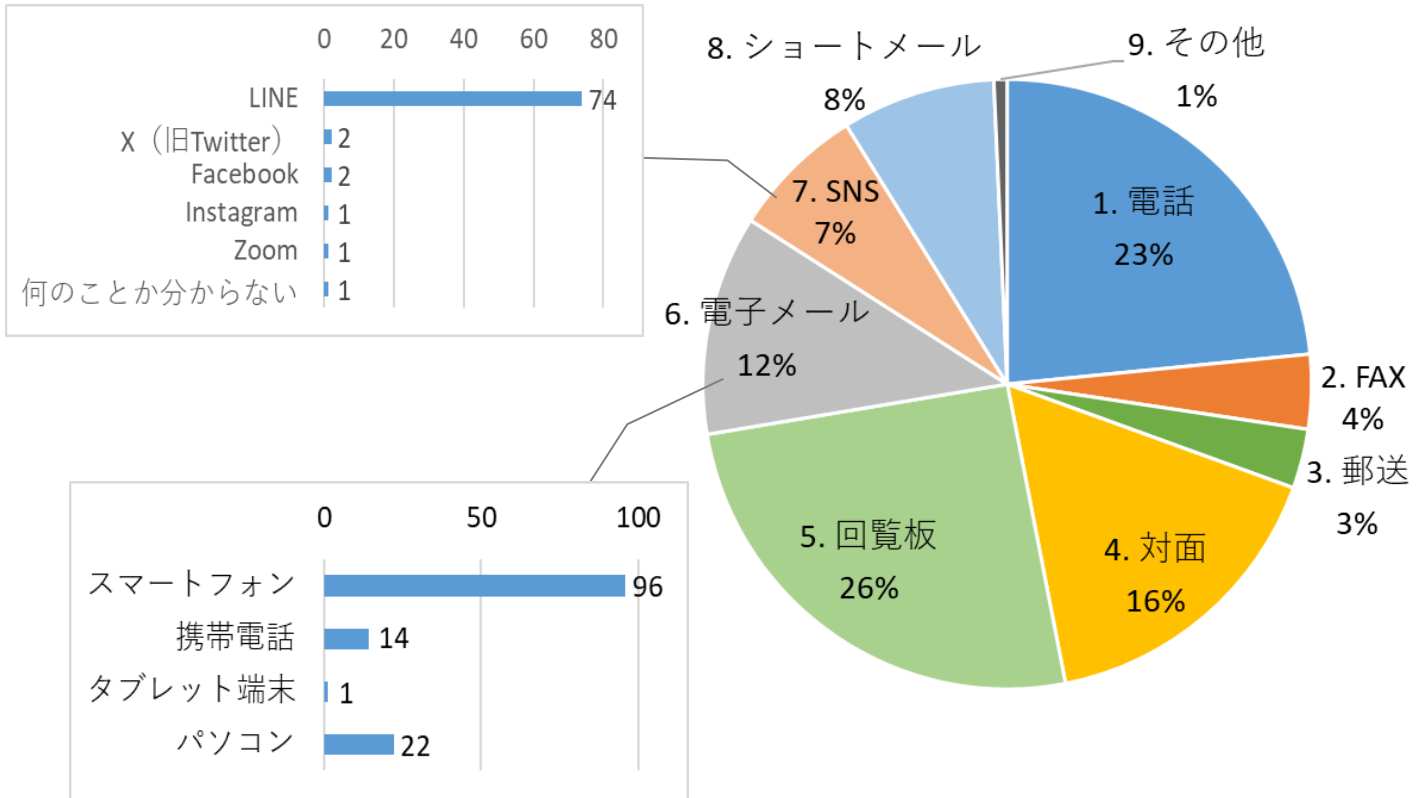
①会長が普段の生活で活用しているデジタルツールについて、あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)



▶調査結果から

- ・ 普段の生活において、電子メール等のデジタルツールを活用している町内会長は 286 名 (84%)、活用していない町内会長は 55 名 (16%) である。
- ・ 活用しているデジタルツールとしては、電子メールが最も多く、次に SNS、その次にショートメールとなっている。
- ・ 電子メールの送受信には、スマートフォンやパソコンを使用している会長が多い。
- ・ SNS については、LINE を利用している会長が 184 名と圧倒的に多く、LINE 以外の SNS (Facebook 等) を利用している会長は、それぞれの SNS につき 20 名前後である。

②貴町内会が町内会の活動で活用している連絡手段について、あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)



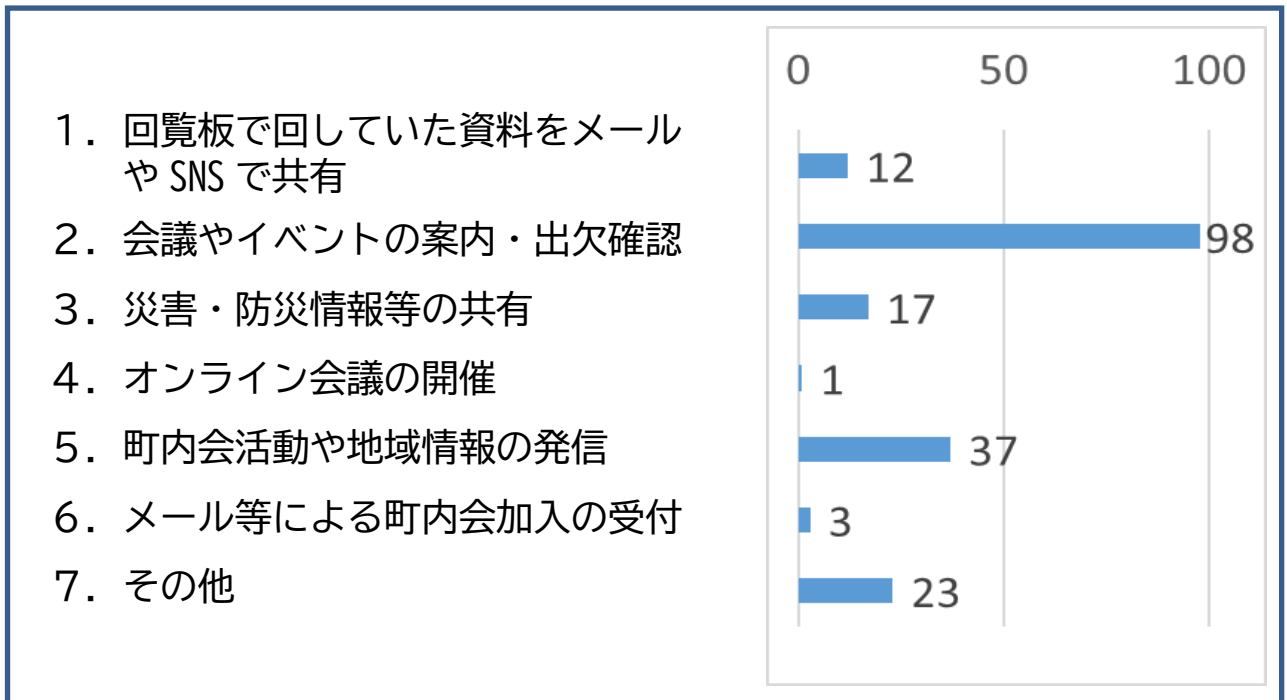
「9. その他」の主なもの

- ・町内会の掲示板
- ・文書を封筒に入れ訪問し、ポストに入れる

▶調査結果から

- ・町内会活動で活用している連絡手段については、回覧板が最も多く、次に電話、その次に対面であり、電子メールは4番目となっている。
- ・デジタルツールとその他のツールに分けて見た場合、デジタル（電子メール、SNS、ショートメール）の割合は27%、その他（電話、FAX、郵送、対面、回覧板、その他）の割合は73%であり、デジタルツールの活用は3割以下にとどまっている。
- ・①及び②の調査結果から、普段の生活においてはデジタルツールを活用しているが、町内会の活動においてはそれほどデジタルツールを活用していないことがわかる。

③問3の②において、電子メール、SNS、ショートメールに○をつけた方は、そのデジタルツールを町内会活動でどのように活用していますか。あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)



「7. その他」の主なもの

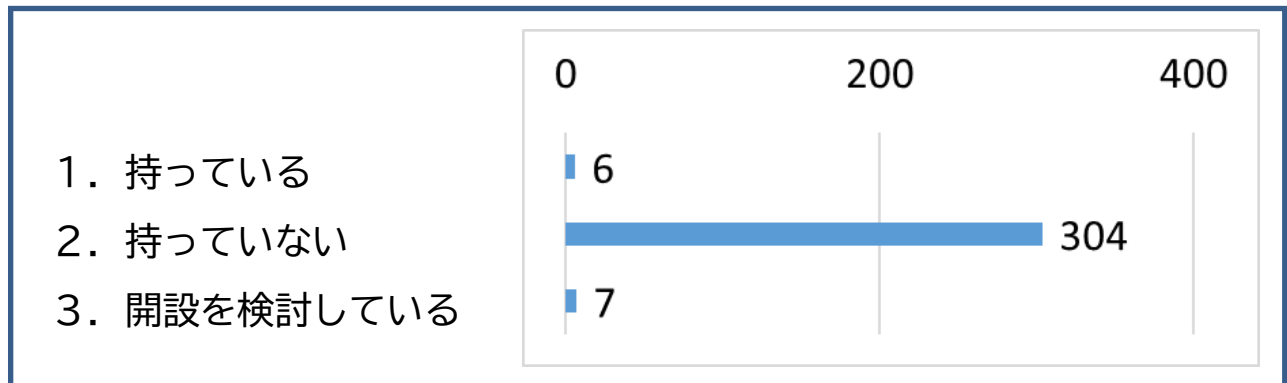
- ・町内会総会、会議等の資料作成、会計、会計監査等の資料作成
- ・役員、班長への事務連絡
- ・役員間の連絡
- ・三役等には、グループラインで連絡している。
- ・質問事項と回答
- ・一部の役員との連絡にショートメールを使用することもある。
- ・地区体育祭の参加者の確認のためにショートメールを使用。
- ・X (旧 Twitter) にお祭りの様子を載せている。
- ・祭りのお囃子の練習の連絡に使用。(「今日は雨天のためお囃子は中止」などと発信)

▶調査結果から

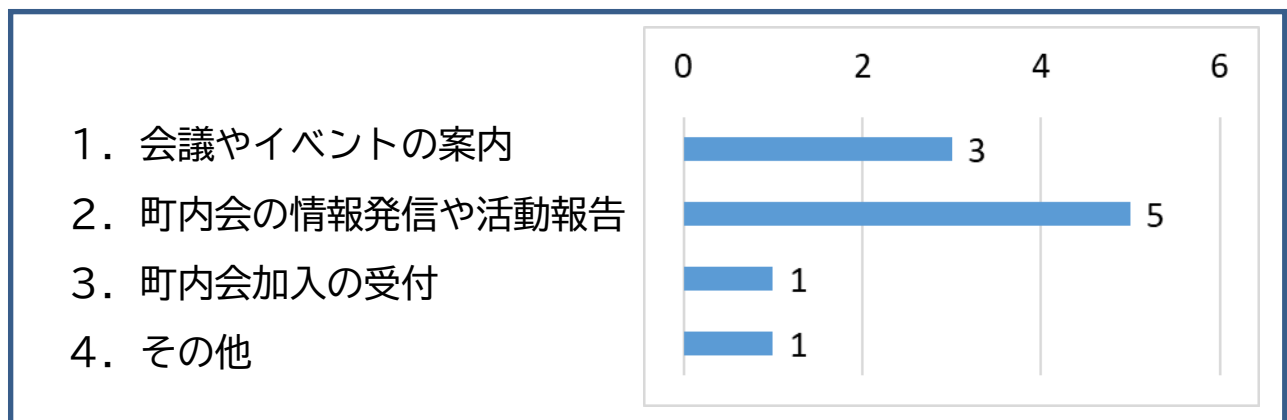
- ・町内会活動でのデジタルツールの活用法については、会議やイベントの案内・出欠確認が最も多く、次に町内会活動や地域情報の発信となっており、町内会加入受付やオンライン会議にはほぼ活用していない。
- ・その他の回答を見ると、役員間の連絡等、限られた範囲でデジタルツールを活用しているケースが多い。

問4. ホームページについて

①貴町内会では、町内会活動などを広報するためのホームページをお持ちですか。あてはまるものを一つ選んで番号に○をつけてください。



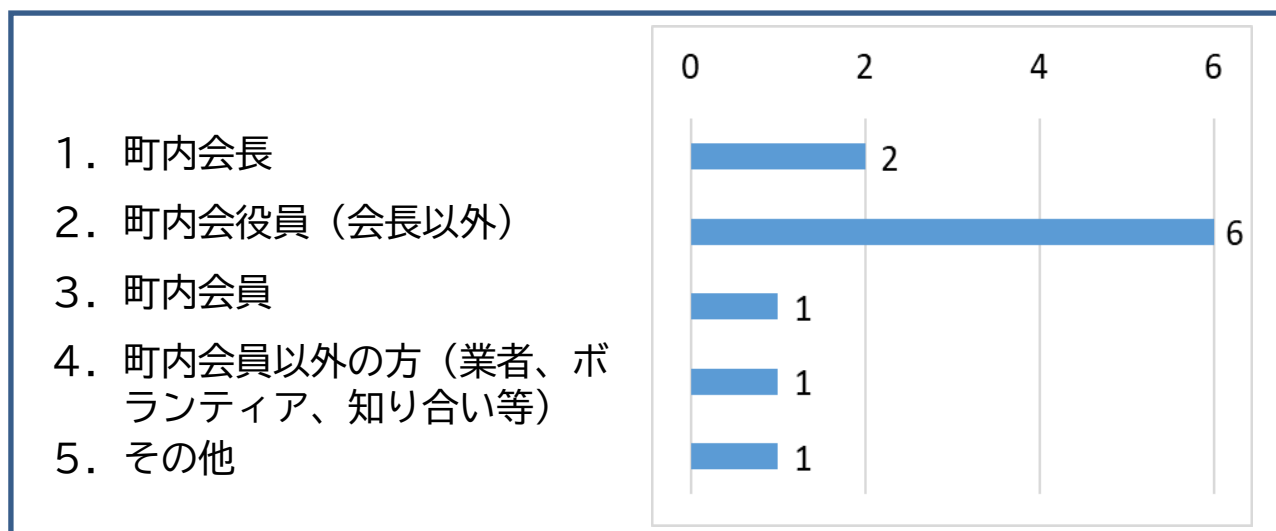
②上記①において「1. 持っている」を選択した方、ホームページを何に活用していますか。あてはまるものの番号に○をつけてください。（複数選択可）



「4. その他」

- ・ホームページをNPOのWeb上で利用できるようにしている。（会議の記録、電子回覧板）

③問4の①において「1. 持っている」を選択した方、ホームページの編集はどなたが行っていますか。あてはまるものを一つ選んで番号に○をつけてください。



「5. その他」

・ NPO

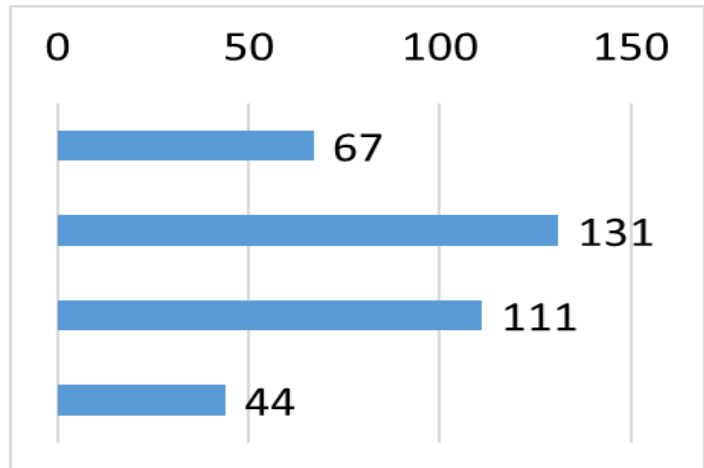
▶調査結果から

- ・ ホームページを持っている町内会は 6 つ、持っていない町内会は 304 で、ほとんどの町内会がホームページを持っていない。
- ・ ホームページを持っている町内会は、町内会の情報発信や活動報告、会議やイベントの案内に活用している。
- ・ ホームページの編集については、会長以外の町内会役員が行っているケースが最も多い。

問5. 町内会におけるデジタル化の必要性

貴町内会では、町内会活動のデジタル化の必要性を感じますか。あてはまるものを一つ選んで番号に○をつけてください。

1. デジタル化の必要性を感じる。
2. デジタル化の必要性を感じない。
3. どちらとも言えない。
4. その他



「4. その他」の主なもの

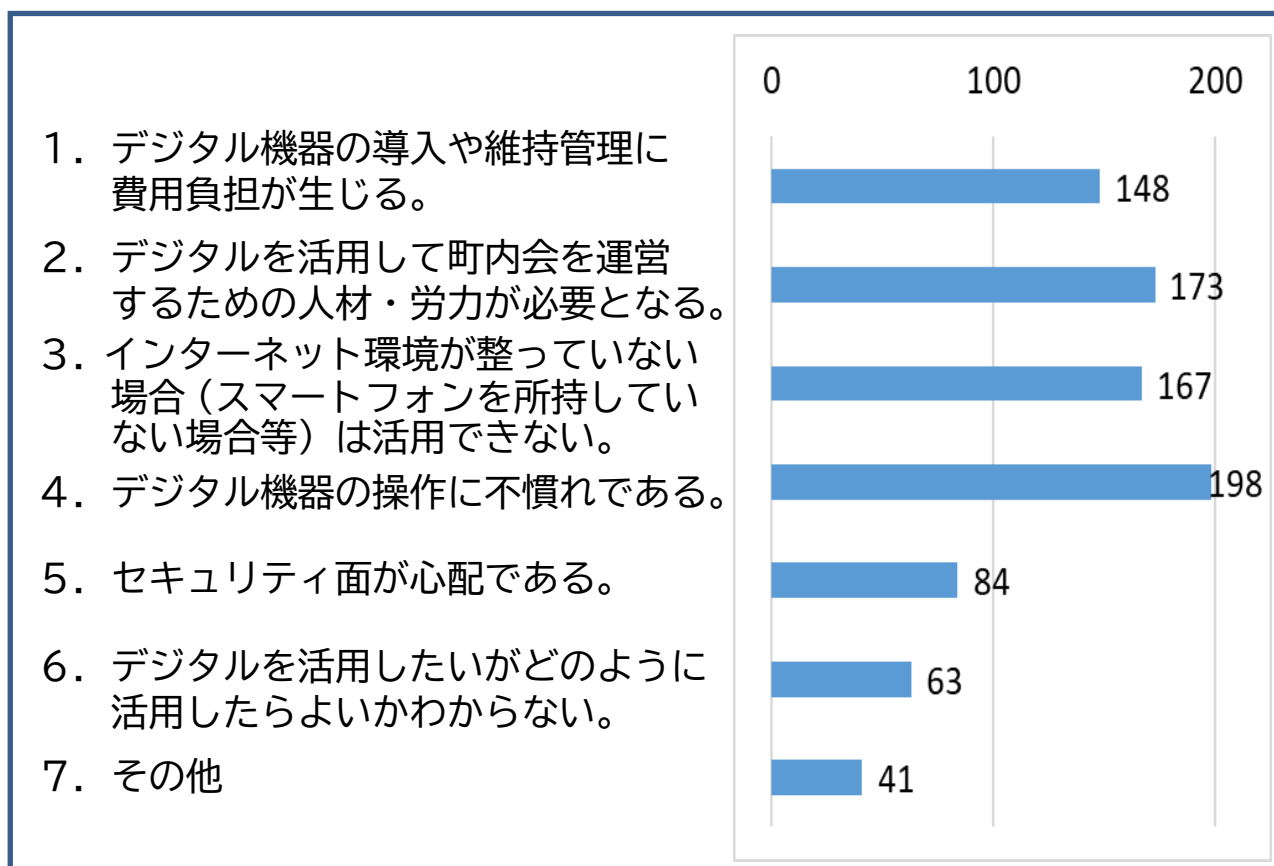
- ・高齢者世帯もあるので、一律に実施することはできない。
- ・高齢者が多いため、デジタル化はかなり難しいと思われる。
- ・町内会員の高齢化に伴い、パソコンやスマートフォン等の操作には懸念点も多い。
- ・近い将来若い会長になれば、デジタル化されるだろうと思う。
- ・若い共働きの世帯が多い班からはデジタル化を望む声も聞く。
- ・回覧板を無くして班長さんの負担を減らしたい。
- ・回覧板を回して歩くより良いので必要性を感じる。
- ・必要性は感じるが、ハードルはかなり高い。
- ・デジタル化は必要だと思うが、顔を見てのコミュニケーションが大事。メールを一方向的に送信して連絡がついたと思うのが間違い。
- ・回覧板による隣家との交流は重要。高齢でデジタルツールに不慣れな人が置き去りになるのが心配。町内会長が会員の個人情報を扱う上での責任とセキュリティ上の不安が残る。
- ・回覧板とデジタル発信を同時平行でやる必要がある。
- ・デジタル化をしても紙も必要であれば二重手間である。デジタル化の前に、若い人に町内会に興味を持ってもらえるかが大事である。
- ・デジタル化は若年層に町内会をアピールできると思う。

▶調査結果から

- ・デジタル化の必要性を感じるという回答が67であるのに対し、デジタル化の必要性を感じないという回答は131であり、必要性を感じないという町内会を感じるという町内会の2倍近くの数となっている。
- ・どちらとも言えないという回答が111であり、全体の3割程度であることから、デジタル化のイメージが湧かない町内会も多いと思われる。
- ・その他の回答を見ると、デジタル化の必要性を感じる一方で、高齢者が多いため実施できない、顔を見てのコミュニケーションが大事、デジタルに不慣れな人が置き去りになるのが心配、セキュリティ上の不安が残る、手間が増えるなどの意見があることから、デジタル化は有効と思うが、現状では難しいと感じている町内会が多いと思われる。

問6. デジタルを活用する上での悩みや課題

町内会活動においてデジタルを活用する上での悩みや課題について、あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)



「7. その他」の主なもの

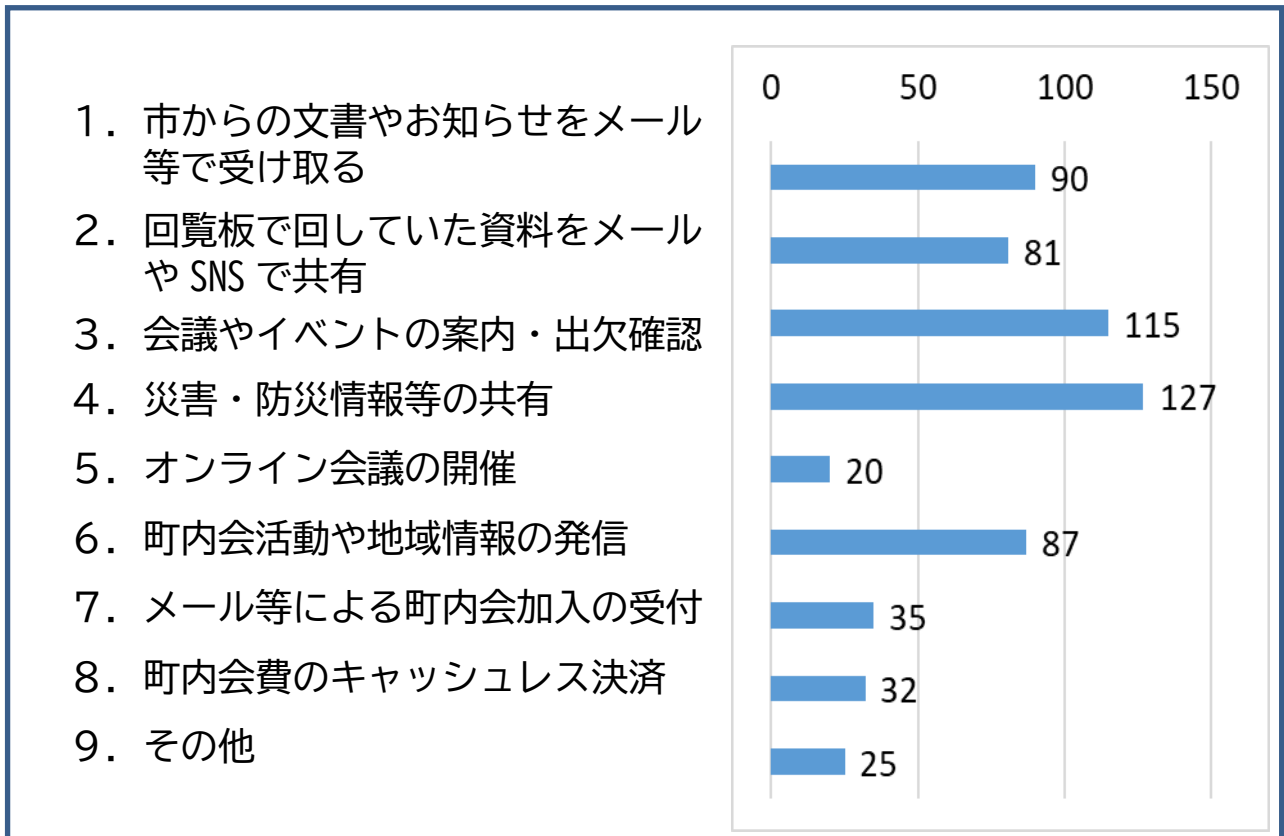
- ・会長や一部役員では導入可能だが、町内会全世帯となると様々な困難がある。
- ・当町内会の役員は70歳～80歳以上の方が多いので、デジタルの活用が難しいと思う。
- ・デジタル機器を所有していない高齢者世帯がある。
- ・町内会加入者は高齢者が多く、デジタル機器の操作をできるような人は少ないと思う。
- ・デジタル機器を持たない高齢者などは、従来どおり回覧板を使用するしかない。
- ・スマートフォンを所持していても通話のみの方が多い。
- ・70歳代が多く、余計複雑になり町内会を脱退されると困る。
- ・市の補助事業として指導と環境作りをしてもらいたい。
- ・スマートフォンは役員全員が所持しているのでLINE環境を整えたい。
- ・現状でデジタル活用を進めるためには、初歩的内容から指導してくれるシステムが必要と思われる。
- ・町内会長及び役員の引受人がないのが問題。
- ・若い世代が町内会運営の主体にならなければ活用できない。今の役員は高齢者ばかりで理解できない。

▶調査結果から

- ・デジタルを活用する上での悩みや課題として最も多いのは、「デジタル機器の操作に不慣れ」であり、次に「デジタルを活用して町内会を運営するための人材・労力が必要」、その次に「インターネット環境がない場合活用できない」となっている。
- ・その他の回答としては、デジタル機器を所有していない高齢者世帯がある、初歩的内容から指導してくれるシステムが必要、若い世代が町内会運営の主体にならなければ活用できない、などの意見がある。
- ・このことから、会員にインターネット環境が整備され、デジタルを活用して町内会を運営できる人材がいれば、指導によりデジタル機器に慣れることによってデジタル化が進む可能性はあると思われる。

問7. デジタル化を進めたい町内会活動の分野

今後デジタル化を進めたい町内会活動の分野について、あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)



「9. その他」の主なもの

- ・記録を残すこと。
- ・町内会費の銀行振り込みについては、会員からの要望がある。
- ・町内会費のキャッシュレス決済は、運営の効率化として効果があると思うが、町内会費集めのフェイストゥフェイスの関係が失われる心配もある。
- ・会費外の現金の取扱いは班長さんの業務の中で一番の難題でもあり、キャッシュレス化は重点事項の一つではあるが…。
- ・全てがメールでは町内会員のつながりが希薄になり良くないと思う。
- ・何から何まで急にデジタル化は混乱するのでは。
- ・回覧板で用が足りるので必要なし。

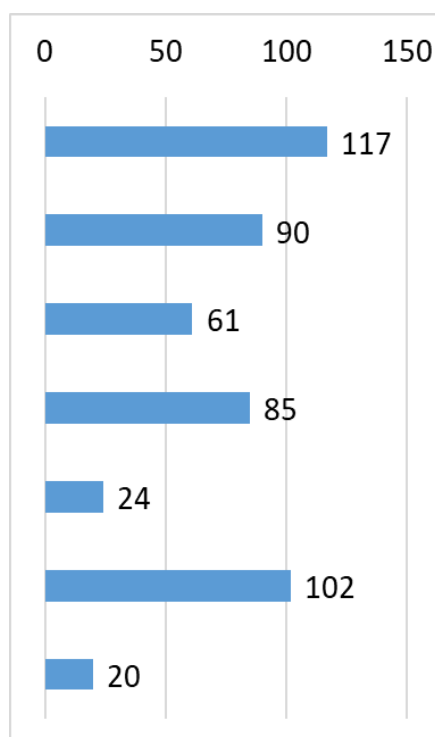
▶調査結果から

- ・デジタル化を進めたい町内会活動の分野として最も多いのは、「災害・防災情報等の共有」であり、次に「会議やイベントの案内・出欠確認」、その次に「市からの文書やお知らせのメール等での受け取り」が多い。
- ・このことから、情報の共有や文書のやり取りにおいてデジタル化を進めたいと考えている町内会が多いということがわかり、まずは普段の情報提供や会議案内のデジタル化に取り組むことが有効と思われる。
- ・また、その他の回答を見ると、町内会費の銀行振り込みやキャッシュレス決済など、お金の取り扱いにおいて効率化を図りたいと考えている町内会が一定数あることが読み取れる。

問8. デジタル化により見込まれる効果

町内会のデジタル化により見込まれる（期待される）効果について、あてはまるものの番号に○をつけてください。（複数選択可）

1. 町内会長や町内会役員、班長等の労力の削減が見込まれる。
2. 紙やインク等の経費の削減が見込まれる。
3. 町内会員の利便性の向上が見込まれる。
4. 若い世代をはじめとする多様な方々の町内会活動への参加が期待される。
5. 町内会に新たに参加する方の増加が期待される。
6. 特に効果があるとは思えない。
7. その他



「7. その他」の主なもの

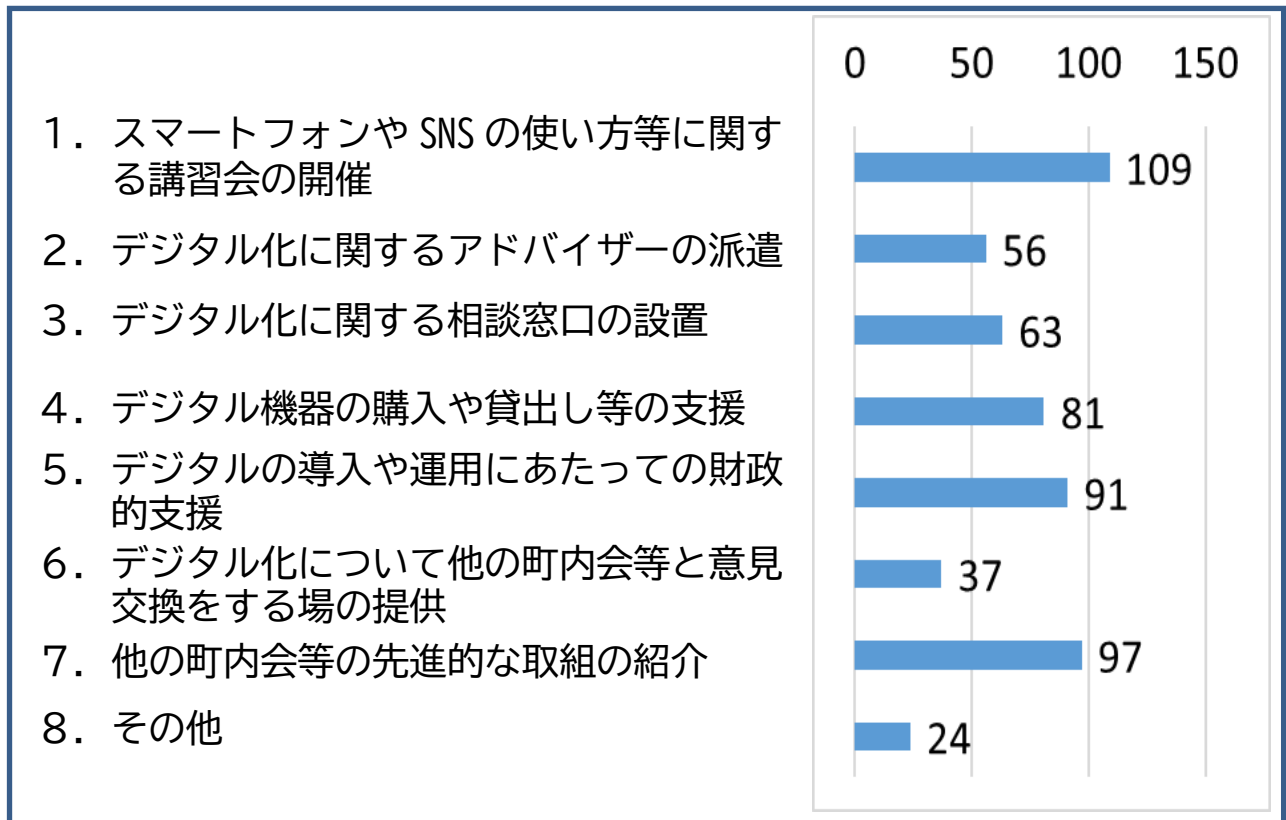
- ・情報の発信は楽になるが、多くの人に書き込まれると返信が大変になる。
- ・高齢者が多いのでそれほど効果を感じられない。
- ・1,2 以外感じられない。おはようさん、こんばんはが全くなくなってしまいそう。
- ・1,2,3 は、町内会の意義を感じている人には効果は大きい。4,5 は、町内会そのものに必要性を感じていない人には無意味。
- ・完全にデジタル化となった場合は、会員全てが知識を持って理解しなければ、二重の労力が発生。

▶調査結果から

- ・デジタル化により見込まれる（期待される）効果については、「町内会長や町内会役員、班長等の労力の削減」、「紙やインク等の経費の削減」という町内会運営上の効果や、「若い世代をはじめとする多様な方々の町内会活動への参加」という町内会の活性化につながる効果を見込んでいる町内会が多い。
- ・一方で、「特に効果があるとは思えない」という回答が多いこと、その他の意見として「それほど効果を感じられない」、「二重の労力が発生」などの消極的な意見もあることから、デジタル化に取り組む場合は慎重に進めなければならないと思われる。

問9. デジタル化に関して望む支援

町内会のデジタル化に関し、今後望む支援について、あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)



「8. その他」の主なもの

- ・端末を各会員が持つことから始まると思う。
- ・市が町内会用のサーバーを用意（提供）する。
- ・町内の全員（家族全員）が受け取ることができるシステム作り。
- ・キャッシュレスで会費を集める方法。
- ・いつでも質問ができるようにしてほしい。
- ・デジタル化の進んでいる自治会の活動概要をリーフレットにまとめて紹介してほしい。
- ・成功している団体があれば勉強してみたい。
- ・自治体はデジタル導入に前向きではあるが、現実はまだまだ先の話だと思う。
- ・町内会費の支出も困難との声もある中、機器設置、利用経費が家庭支出となれば、必ず不要だという家庭が出る。
- ・デジタル化に財源が必要なのか。市ホームページを活用しては。あと10年もすればデジタル化も進みペーパーレス化が進むのでは。

▶調査結果から

- ・デジタル化に関して望む支援として最も多いのは、「スマートフォンや SNS の使い方等に関する講習会の開催」、次に「他の町内会等の先進的な取組の紹介」、その次に「デジタルの導入や運用にあたっての財政的支援」となっている。
- ・その他の回答としては、「町内会用のサーバーを用意（提供）」、「町内の全員（家族全員）が受け取ることができるシステム作り」、「キャッシュレスで会費を集める方法」などのハード面やシステムに関する支援を望む意見も見受けられる。
- ・町内会のデジタル化に関して幅広い支援を望んでいることがわかり、今後の方策を検討する上で参考になるものと思われる。

問 10. その他意見

町内会のデジタル化に関してお困りのことや、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

(以下、その他意見を 11 項目に分類し、主なものを抜粋し記載)

1. 高齢者が多いためデジタル化は難しい

- 高齢者世帯が多いので、デジタル化の意味さえも理解できないこともあり、市役所から町内会長への連絡等は良いと思うが、町内会としてのデジタル化は難しいと思う。
- 町内の世帯数が 11 世帯でとても少ないため、デジタル化の必要性を感じない。高齢者が多く、一人世帯や家族が少ない世帯のため、期待できないと思う。
- 会員は高齢者が多く機械に不慣れと思われるので、従来どおり紙ベースでの情報伝達が最良と思う。
- 高齢者が多いので個々の対応に心配がある。現在は役員を中心に連絡のためメールを使っているが、それ以上には広がっていない。
- 緊急時の情報伝達に LINE グループによる町内会員全員への一斉送信を行

いたいが、町内会員は高齢者が多く、スマホを持たない。もしくは持っているが電話しか使っていない人が多く町内のデジタル化の一步は難しいと考える。

- デジタル化は便利で将来的には必要と思われるが、現状として高齢化が進んでいて高齢者の一人、二人暮らしが多い中、活用できるか。機器を持っていない、操作ができるか、セキュリティの問題等で早急に進むか難しいところがある。
- デジタル化を望む者はごく少数の若い人たちと思われる。もしデジタル化を望むのであればその者たちが町内会の役員となって運営すれば良いと思う。現役員はほとんど後期高齢者であり、デジタル対応は無理ですし習うつもりもありません。

2. デジタル化に対応できる人と対応できない人がいる

- 町内会のデジタル化は、必要と思われるが現実的には難しい。少子高齢化に伴い、一人暮らしの世帯が急増し、また高齢世帯では携帯電話はかけるがメール等には馴染みがなく取扱いができないのが現状である。若い世帯はSNSにはなじんでいるが、町内会にはあまり関心がない。町内会としては一番弱い人をターゲットにするのがよいと考えている。
- 市 ⇒ 会長 ⇒ 班長 ⇒ 町内全員
 ↑ ↑ ↑
 デジタルOK どうかOK 難しい
- デジタル化への流れは、今後必然的なものであるが、現在は未だ対応不十分な方が多くいらっしゃる。取り残される方があってはならないため、慎重に行っていく必要がある。デジタル化の良さを十分に生かしながら、町内という狭い地域性の良さも保持しながら運用できれば良いと考える。
- デジタル化した場合、その恩恵にあずかれる人、あずかれない人が出てくるため、不公平感が出るのが考えられる。また、デジタル担当の役員（町内会員）の負担が増すことが考えられる。
- 恥ずかしいことだが、ガラケーの携帯電話機しか持っておらず、QRコードも使用したこともありません。ましてメール等は、したことがありません。若い方に会長職を譲りたいが、総会にも出て来ず、成り手が見つかりません。仕方なくずるずる引き受けている次第である。

3. デジタル化を望む

- 市、公民館、学校（小、中）駐在所等すべての配布、通知等回覧板なくしデジタル化する。
- 町内会会員が高齢化の世帯が多く、若い人が少ない中で（中・高校性含む）デジタル化に向けて事前の教育指導が必要となると考える。デジタル化によって町内会役員の負担が軽減されるのであれば早急に進めてほしい。

4. デジタル化は望ましいが、心配もある

- 連絡方法が統一されるのが望ましいが、デジタルと従来の回覧を併用する場合、やってみないとわからないが、事務作業など会長が担当しているので混乱しないか心配である。
- デジタル化によりいろいろな面での利便性があるとは推測できるが、やり慣れないので勉強しなければならないと思う。

5. デジタルと紙を併用していく必要がある

- デジタル化は、情報を知りたい時に知ることができ、利便性が高い。しかし、当町内会の中には、スマートフォンを所持していても操作が苦手な高齢者のみの世帯や一人暮らしの高齢者もいることから、情報伝達には文書等による回覧も併用していく必要があると考える。
- 紙の回覧板を手渡しすることによって隣近所とのコミュニケーションがより図れる。すべてデジタル化することではなく有効な場合に限ってそれを利用すべき。
- 今さら携帯をスマホに変える気持ちはないといっても、時代はデジタルの世の中、次の会長は間違いなくデジタル化を受け入れると思う。要するにできる町内はデジタルでやる。できない町内は今までどおりでやるを希望する。
- 町内会の役員は、70代以上の人が多く、デジタル機器を使いこなせる人が少ないので、早急なデジタル化は、住民のコミュニケーションを阻害するおそれがある。文書を個々に配布するなど地域のコミュニケーションを重んずる方法も残し、必要最小限のデジタル化にとどめてみるべきと思う。

6. 将来的にはデジタル化の必要性を感じる

- 町内会の高齢化が著しく、全体のデジタル化は難題である。受ける側にも相当の経費・時間が必要と思われるが、将来的にはデジタル化にすることが好ましい。町内会の回覧板等で隣の家へ行くという行為は、近隣の状況観察ができるメリットもある。
- 65 歳以上の人は、ほとんど機器を使えない。15 年後ぐらいに進めたら良いと思う。
- デジタル化については、現在知識不足でなんとも言うことはできないが、将来としては推進していきたいと考えている。
- 将来、町内会を運営するのが厳しくなったとき、現在の回覧板でのお知らせ等、デジタル化していればそれを使うことができるのでデジタル化は必須だと思う。
- 町内会員に高齢者が多く、役員に若い人が不足している現状から、デジタル化の必要性がない。ただし、小学校でも児童たちがパソコンを授業の中で活用していることから、今後、若い役員の下でデジタル化を検討していくときを迎えてきていると思う。

7. 講習会や助成が有効

- デジタル機器に不慣れな高齢者世帯へどのようにデジタルツール等を浸透させていけるかが課題であると実感している。講習会などで教えていくことができれば町内のデジタル化も進んでいくのではないかと思う。
- 市からの書類を PDF 等でメール添付にしていただき、切手など浮いた予算で HP 維持代などを支給してほしい。毎年提出する書類（役員や振り込み系）は、メール提出にしていれば、切手代やガソリン代の節約になると思う。

8. 現状で不便を感じない

- 役員、班長が高齢化しており、スマートフォン、SNS を使っていない人もおり、現行の回覧板や電話の活用により現在は今までどおりで全く不便を感じていない。
- 毎月会報を発行（年間の行事も役員会も多く開催し次世代（50～60 歳）の会議も充実）しており、町内会全体でのデジタル化は不要と思われる。
- 高齢化が進んでおり、デジタル化の必要性は感じない。逆に対面による町内会活動を進めたい。

9. デジタル化により人間関係が希薄になる

- デジタル化により町内会における近所付き合いや人間関係が希薄になる懸念があるので、慎重に進めるべきである。
- 日常的に会員同士が顔を合わせる機会がデジタル化で激減する気がする。何らかの用事で週のうち 2~3 日は町内を歩くが、会員と会話を交わすことが多くある。顔を合わせて話をするのが心を開いてくれる一番の方法と思っている。
- 中学校の PTA 会員などは、同世代でスマホ所有も 100%近いでしょう。しかし、町内会員の中には 80 代 90 代の方々までおられ、デジタル化は時期尚早に思う。回覧配布や集金等によってフェイストウフェイスの場が確保され、声掛けや生存確認も町内会の重要な役割だと考える。最も弱い手助けが必要な方に拒否される町内会は、町内会そのものの存在理由を自ら失うだろうと考える。そうなったときは、自分も町内会から脱けると思う。

10. デジタル化に対応した担い手が必要

- デジタル化に対応した人材育成など担い手が必要である。
- 町内会員の高齢化が進む中、現状ではデジタル化への移行は難しいと思う。町内会員の若年化の取り組みが急務であり、青年部の創設を検討する必要があるものと思われる。
- 町内会長としてはデジタル化を進めてほしいところだが、町内会役員の年齢を見ると、会長をはじめ役員の大部分が高齢となっている。よって、令和 6 年度から役員を若返りさせる努力をしたいと考えている。また今、デジタル機器を操作する者がいない現状である。役員が若返ったら、機器の導入に積極的に参加したいと思う。
- 現状の町内会役員の構成では、高齢のため無理。根本的に役員構成を若い世代に変えることが先だが、若手の引き受け手がないのが一番の悩みである。

11. その他

- デジタル化を進めるためには、各戸に端末が必要で、問 7.8.9 は、端末のある一部では全ての項目が利用できればすばらしいと思う。しかし現状はそうでない。また、端末はあっても町内会活動に関心があればいいが、なければ煩わしいだけで利用されないと思う。今なぜ町内会へ加入しないか別の問題点があるのではないだろうか。

- 市からの連絡がメール等で来ることは、市にとって便利だと思うが、必要な分はこちらで印刷しなければならなくなる。回覧等 SNS 等で連絡すれば便利だが、ますます隣近所の関係が希薄になるような気がする。全世帯が SNS の環境を整えるには、お金と労力がかかりすぎる。フィンランドのように国営のネット環境があれば別だが、ネット環境が商売の道具になっている日本では難しい。
- ルーティンの作業をデジタル化することのメリットは大きいですが、運営面に落とし込むには専門家の助言や先進事例を学ぶ必要性を感じている。個人情報（会員の氏名、住所、年齢等）を扱う場面が多いので、セキュリティの確保が大丈夫かいつも気になる。班長等へ会議の案内など簡単な連絡事項を従来は手渡しで行っていたが、R5 年度からメールシステムを導入してみたところ、メールや SNS に不慣れな方がいる状況で、デジタルによる効率化と従来のやり方が混在し、労力の削減までには至っていない状況である。
- デジタル化を担当できる人が町内にいないので、八戸市でデジタル化のためのモデルシステムを制作して各町内に配布し、使用のための講習会を開催してくれるのであれば、デジタル化も可能かもしれない。②回覧板を回すことにより、お互いに顔を合わせて挨拶・情報交換ができたり、また安否確認の一助にもなっている良さがある。このことを考えると、デジタル化も良いが、回覧板システムも残すべきである。そうすると回覧板とデジタル化の 2 通りのやり方となり、町内の負担も大きくなるので大変である。③デジタル化しても、町内会に関心のない人たちは、どのくらいの方がそのページを見てくれるのでしょうか。

アンケート調査票

町内会のデジタル化に関する状況調査 アンケート調査票

記入日：令和 年 月 日

町内会名： _____

○ **調査目的**

この調査は、町内会におけるデジタル化に関する環境や意識を調査し、その結果を踏まえ、デジタル化に関する今後の方策を検討するために、市内全町内会・自治会を対象に実施するものです。

○ **記入に際して**

- ・選択式への回答のほか、ご意見等についてご記入をお願いいたします。
- ・調査票に書ききれない場合は、他の紙に書いていただいても結構です。
- ・貴町内会のデジタル化の取組についてわかる資料がある場合は、その資料をご提供ください。

○ **回答期限、回答方法**

同封の返信用封筒に入れて、令和6年2月28日（水）までにポストへ投函してください。

○ **調査項目**

- 問1. 町内会長ご自身について P 2
- 問2. 町内会長が所持しているデジタル機器 P 2
- 問3. デジタルツールの活用 P 3～5
- 問4. ホームページについて P 5～6
- 問5. 町内会におけるデジタル化の必要性 P 6
- 問6. デジタルを活用する上での悩みや課題 P 7
- 問7. デジタル化を進めたい町内会活動の分野 P 7
- 問8. デジタル化により見込まれる効果 P 8
- 問9. デジタル化に関して望む支援 P 8
- 問10. その他意見 P 9

問1. 町内会長ご自身について

① 会長の年齢について、該当する番号に○をつけてください。

[選択式]

- 1. 20 歳代
- 2. 30 歳代
- 3. 40 歳代
- 4. 50 歳代
- 5. 60 歳代
- 6. 70 歳代
- 7. 80 歳代以上

② 会長の性別について、該当する番号に○をつけてください。

[選択式]

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. その他
- 4. 答えたくない

問2. 町内会長が所持しているデジタル機器

会長が所持しているデジタル機器について、あてはまるものの番号に○をつけてください。（複数選択可）

[選択式と自由記述]

- 1. スマートフォン（iPhone、AQUOS、Xperia、らくらくスマホ等）
- 2. 携帯電話（いわゆるガラケー）
- 3. タブレット端末（iPad、Android タブレット等）
- 4. パソコン
- 5. 持っていない
- 6. その他（上記の他、所持しているデジタル機器があればご記入ください）

問3. デジタルツールの活用

- ① 会長が普段の生活で活用しているデジタルツールについて、あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)

[選択式と自由記述]

1. 電子メール
↳○をつけた方は、どの機器を使ってメールをしているかア～エから選んでください。(複数選択可)
ア) スマートフォン
イ) 携帯電話 (スマートフォンを除く)
ウ) タブレット端末
エ) パソコン
2. SNS (LINE (ライン) 等)
↳○をつけた方は、どのような SNS を利用しているか、ア～キから選んでください。(複数選択可)
ア) LINE (ライン)
イ) X (エックス) [旧 Twitter (ツイッター)]
ウ) Facebook (フェイスブック)
エ) Instagram (インスタグラム)
オ) Zoom (ズーム)
カ) 何のことかわからない
キ) その他 (上記の他、利用している SNS があればご記入ください)
[
3. ショートメール (文字メッセージを電話番号あてに送受信するショートメッセージサービス)
4. 活用していない
5. その他 (上記の他、活用しているデジタルツールがあればご記入ください)
[

- ② 貴町内会が町内会の活動で活用している連絡手段について、あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)

[選択式と自由記述]

1. 電話	2. FAX	3. 郵送	4. 対面	5. 回覧板
6. 電子メール				
↳○をつけた方は、どの機器を使ってメールをしているかア～エから選んでください。(複数選択可)				
ア) スマートフォン				
イ) 携帯電話 (スマートフォンを除く)				
ウ) タブレット端末				
エ) パソコン				
7. SNS (LINE (ライン) 等)				
↳○をつけた方は、どのような SNS を利用しているか、ア～キから選んでください。(複数選択可)				
ア) LINE (ライン)				
イ) X (エックス) [旧 Twitter (ツイッター)]				
ウ) Facebook (フェイスブック)				
エ) Instagram (インスタグラム)				
オ) Zoom (ズーム)				
カ) 何のことかわからない				
キ) その他 (上記の他、利用している SNS があればご記入ください)				
[
8. ショートメール (文字メッセージを電話番号あてに送受信するショートメッセージサービス)				
9. その他 (上記の他、活用している連絡手段があればご記入ください)				
[

③ 問3の②において、6～8に○をつけた方は、そのデジタルツールを町内会活動でどのように活用していますか。あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)

[選択式と自由記述]

<ol style="list-style-type: none"> 1. 回覧板で回していた資料をメールやSNSで共有 2. 会議やイベントの案内・出欠確認 3. 災害・防災情報等の共有 4. オンライン会議の開催 5. 町内会活動や地域情報の発信 6. メール等による町内会加入の受付 7. その他（上記の他、活用していることがあればご記入ください） 	[]
--	---	---

問4. ホームページについて

① 貴町内会では、町内会活動などを広報するためのホームページをお持ちですか。あてはまるものを一つ選んで番号に○をつけてください。

[選択式]

<ol style="list-style-type: none"> 1. ホームページを持っている。 → ②・③へ 2. ホームページを持っていない。 3. ホームページの開設を検討している。 	[]
--	---	---

② 上記①において1を選じた方、ホームページを何に活用していますか。あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)

[選択式と自由記述]

<ol style="list-style-type: none"> 1. 会議やイベントの案内 2. 町内会の情報発信や活動報告 3. 町内会加入の受付 4. その他（上記の他、活用していることがあればご記入ください） 	[]
--	---	---

③ 問4の①において1を選じた方、ホームページの編集はどなたが行っていますか。あてはまるものを一つ選んで番号に○をつけてください。

[選択式と自由記述]

<ol style="list-style-type: none"> 1. 町内会長 2. 町内会役員（会長以外） 3. 町内会員 4. 町内会員以外の方（業者、ボランティア、知り合い等） 5. その他（自由記述） 	[]
--	---	---

問5. 町内会におけるデジタル化の必要性

貴町内会では、町内会活動のデジタル化の必要性を感じますか。あてはまるものを一つ選んで番号に○をつけてください。

[選択式と自由記述]

<ol style="list-style-type: none"> 1. デジタル化の必要性を感じる。 2. デジタル化の必要性を感じない。 3. どちらとも言えない。 4. その他（上記の他、必要性について意見があればご記入ください） 	[]
---	---	---

問6. デジタルを活用する上での悩みや課題

町内会活動においてデジタルを活用する上での悩みや課題について、あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)

[選択式と自由記述]

1. デジタル機器の導入や維持管理に費用負担が生じる。
2. デジタルを活用して町内会を運営するための人材・労力が必要となる。
3. インターネット環境が整っていない場合(スマートフォンを所持していない場合等)は活用できない。
4. デジタル機器の操作に不慣れである。
5. セキュリティ面が心配である。
6. デジタルを活用したいがどのように活用したらよいかわからない。
7. その他(上記の他、悩みや課題があればご記入ください)

[]

問7. デジタル化を進めたい町内会活動の分野

今後デジタル化を進めたい町内会活動の分野について、あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)

[選択式と自由記述]

1. 市からの文書やお知らせをメール等で受け取る
2. 閲覧板で回していた資料をメールやSNSで共有
3. 会議やイベントの案内・出欠確認
4. 災害・防災情報等の共有
5. オンライン会議の開催
6. 町内会活動や地域情報の発信
7. メール等による町内会加入の受付
8. 町内会費のキャッシュレス決済
9. その他(上記の他、デジタル化を進めたい活動があればご記入ください)

[]

問8. デジタル化により見込まれる効果

町内会のデジタル化により見込まれる(期待される)効果について、あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)

[選択式と自由記述]

1. 町内会長や町内会役員、班長等の労力の削減が見込まれる。
2. 紙やインク等の経費の削減が見込まれる。
3. 町内会員の利便性の向上が見込まれる。
4. 若い世代をはじめとする多様な方々の町内会活動への参加が期待される。
5. 町内会に新たに加入する方の増加が期待される。
6. 特に効果があるとは思えない。
7. その他(上記の他、見込まれる効果があればご記入ください)

[]


問9. デジタル化に関して望む支援

町内会のデジタル化に関して、今後望む支援について、あてはまるものの番号に○をつけてください。(複数選択可)

[選択式と自由記述]

1. スマートフォンやSNSの使い方等に関する講習会の開催
2. デジタル化に関するアドバイザーの派遣
3. デジタル化に関する相談窓口の設置
4. デジタル機器の購入や貸出し等の支援
5. デジタルの導入や運用にあたっての財政的支援
6. デジタル化について他の町内会等と意見交換をする場の提供
7. 他の町内会等の先進的な取組の紹介
8. その他(上記の他、望む支援があればご記入ください)

[]

 問 10. その他意見

町内会のデジタル化についてお困りのことや、ご意見やご要望など
がありましたら、ご自由にお書きください。

[自由記述]

ご協力ありがとうございました

- ・ 調査結果は調査目的以外には使用いたしません。
- ・ 調査結果は皆様にご報告させていただきます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

町内会のデジタル化に関する状況調査 報告書

発行／令和6年6月

八戸市連合町内会連絡協議会

(事務局：八戸市総合政策部市民連携推進課)

〒031-8686 八戸市内丸一丁目1-1 市庁舎本館4階

電話番号：0178-43-9182 FAX 番号：0178-47-1485

電子メール：renkei@city.hachinohe.aomori.jp